

こころの健康相談会（福岡県）

【概要】

新型コロナウイルス感染症の終息の見込みが立たず、感染の影響が長引く中、自殺リスクの高い失業者や生活困窮者の訪問可能性が高い市町村庁舎、社会福祉協議会等において、精神保健福祉士による対面の相談会を開催し、自殺者数の増加を抑制する。

【大綱の分類】

5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する

【政策パッケージ分類】

重点3-1. 相談支援人材育成の推進
 重点3-3. 自殺対策と生活困窮者自立支援制度との連動
 重点4-1. 失業者等に対する相談窓口等の充実

【事業実施年度】 2020 年度事例

【事業予算】 604,000 円（2020 年度）

【利 点】

- ▼これまで相談に繋がらなかった自殺ハイリスク者を相談に繋げることができる。
- ▼よく行く機会がある市町村庁舎等で行うことで、利用者のハードルが下がる。
- ▼相談内容に応じて、福祉や税務など、市町村の窓口につなぐことが容易。

【実施に至るまで】

背景

- ①新型コロナの影響による社会的・経済的理由で、失業者・生活困窮者の自殺者数が増加している。
- ②失業者・生活困窮者は市町村や社会福祉協議会に相談にくる機会が多い。
- ③市町村庁舎や社会福祉協議会等で相談を行うことで足を運びやすくなる。

事業実施上での工夫

- ①会場となる市町村や社協にはできるだけ手間をかけないようにした。
- ②具体的には会場確保や感染防止対策、広報周知のみ依頼し、利用しやすい事業とした。
- ③周知チラシは県で作成し、自殺を前面に押し出さず親しみを持てる文面にした。
- ④市町村には、既存の来庁者で相談ニーズがある方がいた場合は、市町村内他部署や関係機関へのつなぎを依頼した。

事業の具体的な内容

▼相談会は 2 時間

- ・1 人当たり 30 分、4 人分の枠
- ・設営・片付けには前後 30 分

▼県精神保健福祉士協会に委託

- ・1 回当たり 1 人の精神保健福祉士を派遣依頼

▼事前予約制

- ・前日まで電話で予約を受付（県精神保健福祉センター）
- ・予約が入っていない場合は飛び込みも可

【成 果】

「精神保健福祉士による
ころの健康相談会」

今、一番辛いときに、つながる。話しているうちに、ころがほっとする。より多くの方にそんな気持ちを感じてもらうため、無料での相談を受けております。どんなことでも、お気軽にご利用ください。精神保健福祉士が温かく、あなたのころに寄り添います。

相談無料 ※相談時間は概ね30分程度です。
※先着順

※事前に予約することも可能です。(予約:092-582-7500)
電話で氏名、希望時間帯、相談の概要をお知らせください。

日時 令和3年 1月 6日 水 14:00-16:00
大野城市総合福祉センター 1階相談室
(大野城市理町2丁目3-2)

日時 令和3年 1月 13日 水 14:00-16:00
久留米市総合福祉センター 2階大会議室
(久留米市長門石1丁目1-34)

日時 令和3年 1月 20日 水 13:00-15:00
水巻町いきいきほーる 住民相談室
(水巻町頃末南3丁目11-1)

主 催 福岡県 福岡県精神保健福祉センター
お問い合わせ先 福岡県精神保健福祉センター
〒816-0604 春日市原町3丁目1-7 電話番号:092-582-7500

- ▼相談実績：8件
- ▼相談日数：12日間
- ▼実施市町村数：12市町
- ▼県単独事業であるが、市町村や社協からは「話を聞いてもらった来庁者の態度が柔化した」、「利用者は少なかったがニーズはあると思う」等の好意的な反応が多かった。
- ▼利用者も「話を聞いてもらってよかった」という概ね好意的な反応だった。
- ▼他へのつながりが必要となったケースは4件（地域包括支援センターが1件、福祉事務所が2件、多重債務相談窓口が1件）

【補 足】

- ▼ころの健康相談会資料

【課 題】

- ▼利用者数の増加のための更なる広報周知

【事業種別】	相談実施（一般県民対象）
【準備期間】	95日
【人 数】	1人
【人口規模】	5,100,000人
【財政規模】	¥2,136,100,000,000
【自治体負担率】	75%（新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金）
【事業対象】	市町村、社会福祉協議会
【支援対象】	一般県民（特に失業者・生活困窮者）
【委託の有無】	有
【実施主体・問合せ先】	福岡県ころの健康づくり推進室 TEL：092（643）3265 Mail:kokoro@pref.fukuoka.lg.jp

【参考資料・文献】

▼特になし